

(ご参考) Daigasグループ 中期経営計画2023 「Creating Value for a Sustainable Future」の概要

(1) 中期経営計画2023の位置付け

持続可能な社会の実現に向け、社会課題の解決に資する価値を生み出す企業グループとして、“ステークホルダーとともに「ミライ価値」を創造し、成長し続けていく”期間（2021～2023年度）とする。

(2) 重点戦略

I. ミライ価値の共創

社会課題解決に向けた価値創造を追求し、ステークホルダーとともに実現

1. 低・脱炭素社会の実現
2. Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現
3. お客さまと社会のレジリエンス向上

II. 企業グループとしてのステージ向上

強靱な事業ポートフォリオ構築と進化を支える経営基盤の強化

1. 事業ポートフォリオ経営の進化
2. デジタルトランスフォーメーションによる事業変革
3. 従業員一人ひとりの価値の最大化

2023年度への成長 ROIC 5%程度、営業CF 1.5倍^(※)、利益成長に応じた株主還元

(※) 2021～2023年度の3か年累計計画 ÷ 2018～2020年度の3か年累計見通し

(3) 経営指標

		2023年度 計画
収益性指標	ROIC ^(※1)	5%程度
株主還元	配当性向	30%以上 ^(※2)
財務健全性指標	D/E比率 ^(※3)	0.7程度
	自己資本比率 ^(※3)	50%程度

(※1) ROIC=(経常利益-支払・受取利息-法人税等)÷(有利子負債+自己資本)
有利子負債は、当社にリスクのないリース負債を除く
国内エネルギー事業における一時的な影響を除く
(ガス事業・電力事業のタイムラグ影響)

(※2) 短期的な利益変動要因を除く

(※3) 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

(4) 重点取り組み

ミライ価値の共創

<p>1. 低・脱炭素社会の実現</p>	<p>CO2排出削減貢献により低炭素化を加速させつつ、都市ガス原料や電源の脱炭素化により、2050年のカーボンニュートラルに向けて挑戦し、低・脱炭素社会の実現を目指す^(※)。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">再生可能エネルギー普及貢献</td> <td style="text-align: right;">500万kW</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(2030年度目標) 国内電力事業の再生可能エネルギー比率</td> <td style="text-align: right;">50%程度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CO2排出削減貢献</td> <td style="text-align: right;">1,000万トン</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 国内外における再生可能エネルギー普及貢献の拡大 ● 革新的なメタネーション技術の開発や、様々なパートナーとの連携 など 	再生可能エネルギー普及貢献	500万kW	(2030年度目標) 国内電力事業の再生可能エネルギー比率	50%程度	CO2排出削減貢献	1,000万トン
再生可能エネルギー普及貢献	500万kW						
(2030年度目標) 国内電力事業の再生可能エネルギー比率	50%程度						
CO2排出削減貢献	1,000万トン						
<p>2. Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現</p>	<p>お客さまごとに最適なサービス・ソリューションを開西・国内広域・海外へ展開することで、変化の中でのNewノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DXによる最適な顧客体験の実現（ライフサービスプラットフォームのご提供） ● 暮らしやビジネスの変化に寄り添ったサービス・ソリューションの拡大 など 						
<p>3. お客さまと社会のレジリエンス向上</p>	<p>インフラの強靱化とともに、分散型電源などと組み合わせたエネルギーネットワークの普及拡大を進め、平時および災害時のさらなるレジリエンスを向上し、さらに国内広域・アジア等の新興国においても広く貢献していくことを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LNG基地やネットワーク業務における生産性向上 ● 再生可能エネルギーと分散型電源とのベストミックスによる系統安定化への貢献 など 						

企業グループとしてのステージ向上

<p>1. 事業ポートフォリオ経営の進化</p>	<p>ROICの導入等を通じて各事業ユニットの稼ぐ力を向上させるとともに、事業ポートフォリオのマネジメント強化、ガバナンス向上に取り組む。</p>
<p>2. デジタルトランスフォーメーションによる事業変革</p>	<p>お客さまとのつながり・あらゆる業務でのデジタル化と業務改革を進めることで、事業そのものの変革とイノベーション創出につなげる。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>データ資産のフル活用 グループ総合力・アライアンス トップダウンによるDX推進体制 デジタル人材の育成・増強 システム刷新・セキュリティ強化</p> </div>
<p>3. 従業員一人ひとりの価値の最大化</p>	<p>多様な人材が多様な働き方を通じて活躍し、“挑戦を通じた成長”と“社会課題解決を通じたやりがい”を実感できる組織づくりを推進する。</p>

(※) 当社グループはこれまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーション等による都市ガス原料の脱炭素化、および再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化によって、2050年のカーボンニュートラル実現を目指しており、当社は、その実現に向けた取り組みを示した「カーボンニュートラルビジョン」を策定しております。詳細は、当社ウェブサイト (https://www.osakagas.co.jp/company/csr/beginning/carbon_neutral_vision.html) をご覧ください。